



第 20 号 2025 /10/ 15

「KOMABA DAY」は月に一度実施している日で、世界で起こっている様々な問題に子どもたちが触れる機会を作っています。また、同日は募金箱も設置します。集まった募金は災害などの緊急支援や KOMABA の開校以来、その活動を応援し続けているトータルペインター・ミヤザキ ケンスケさんのプロジェクト OVER THE WALL に役立てられます。なお楽しみながらの活動を目指しているため、「KOMABA DAY」では講師は私服で授業します。

## 高市早苗氏

# 自民党の新総裁に選出 日本初の女性首相となる見通し

自分は「ワークライフバランス」捨てる

日本版「鉄の女」という野望に近づく



自民党の総裁選挙が 4 日、投開票され、高市早苗前経済安全保障相（64）が選出された。石破茂首相から総裁の座を引き継ぎ、初の女性総裁に就任した。近く開かれる国会の首相指名選挙で、日本初の女性首相に選ばれる公算が大きい。

高市氏は選出直後のあいさつで、党議員らを前に、「全世代総力結集で、全員参加でがんばんなきゃ（自民党は）

立て直せませんよ」と強調。「全員に働いていただきます。馬車馬のように働いていただきます。私自身も、ワークライフバランスという言葉は捨てます」と宣言した。

高市氏は党本部で午後 6 時から、新総裁として初めて記者会見に臨んだ。「自民党の景色を少し変えることができるのではないかと考えている」と述べた上で、党内人事については「全員活躍、全世代総力結集」で取り組む自民党にしたいと話した。

取り組む課題については「何としても物価高対策に力を注ぎたい」と強調。外交については、「外交も安全保障も大変難しい時期」なだけに「まずは日米同盟の強化をしっかりと確認し合うことも大事だ」とした上で、他の国々との協力も必要だと話した。

(BBC NEWS JAPAN)

高市早苗さんが女性として初めて日本の首相になることは、歴史的な一歩であり、多くの女性に勇気と希望を与える大きなできごとではないでしょうか。これまで政治の世界では男性中心の構造が長く続いてきましたが、高市さんの就任は「女性でも国のトップとして責任を担える」という強いメッセージになります。

女性ならではの視点や共感力を生かし、子育てや教育、介護など、国民の生活に寄り添った政策を進めてほしいと思います。また、日本が直面している少子化や経済停滞などの課題にも、しなやかさと決断力をもって取り組み、「新しい時代のリーダー像」を示してほしいとも願います。高市さんの挑戦が、日本社会における真の男女平等の実現への大きな一歩となり、国全体の活力を取り戻すきっかけになることを期待しています。（望月）